

2015年度第1回 先端研ワークショップ

# ダイアログ

## ケアする者とされる者との関係性について考える

本企画「ダイアログ」は、関西圏の若手研究者や関西学院大学出身の研究者を「シニアスカラー」として来ていただき、後輩となる「ジュニアスカラー」の大学院生や、さらなる後輩の学部生との対話の中で、「社会の中で研究者はどうあるべきか」「学問の中で自分の研究はどうあるべきか」、そして「社会の中で自分は何をすべきか」ということを考えるものです。その意味で、先輩と後輩の「ダイアログ」であるだけでなく、社会と学問の「ダイアログ」であり、またさらに、今の自分と将来の自分の「ダイアログ」でもあります。

今回は、関西学院大学を卒業され、現在、神戸学院大学で准教授をされている前田拓也氏に来ていただきます。前田氏は、関西学院大学在学時から介助の現場で活動され、2009年に出版された『介助現場の社会学——身体障害者の自立生活と介助者のリアリティ』（生活書院）により、第1回福祉社会学会奨励賞を受賞された気鋭の研究者です。長年の経験を踏まえて取り組まれてきたご研究について、前田氏と、後輩となる大学院生や学部生とが対話することで、「社会とは」「研究とは」「自分とは」という問いに向き合う機会を作りたいと考えています。

シニアスカラー：**前田 拓也 氏** (神戸学院大学現代社会学部 准教授)

ジュニアスカラー：**矢崎 千華** (関西学院大学大学院社会学研究科 大学院研究員)

**飯塚 諒** (関西学院大学大学院社会学研究科 博士課程後期課程)

司会：**白波瀬 達也** (関西学院大学社会学部 准教授)

### シニアスカラー紹介：

専門は、主に、福祉社会学、障害学。第1回福祉社会学会奨励賞受賞。関心のある領域と主な研究課題は、ケアする者とされる者の相互行為、仕事のリアリティとはたらく人びとの生活世界、社会調査、とくに質的調査/フィールドワークの方法論。主な業績として、『介助現場の社会学——身体障害者の自立生活と介助者のリアリティ』（単著、生活書院、2009年）、「はたらかながらしらべる——障害者介助の「現場」を調査することの「困難」をめぐって」（『社会と調査』第6号、pp.12-18、2011年）ほか多数。

### ジュニアスカラー紹介：

矢崎千華。専門は、近代化論、資料研究（明治時代）。主な業績として、「『身の上』の成立——『女学雑誌』「いへのとも」からはじまる紙上「身の上相談」」（『ソシオロジ』第58号2巻、pp.75-92、2013年）等。

飯塚諒。専門は、障害学、コミュニケーション論、支援など。業績は、「聾者・聴覚障害者への情報保障の可能性——タイムラグの再検討」（『KG社会学批評』第4号、pp.11-24、2015年）等。

### 司会紹介：

専門は福祉社会学、宗教社会学。主な業績として『釜ヶ崎のススム』（共編著、洛北出版、2011年）、『宗教の社会貢献を問い直す——ホームレス支援の現場から』（単著、ナカニシヤ出版、2015予定）等。

2015年4月22日(水) 15:30~17:30

上ヶ原キャンパス 社会学部2階 共同学習室

主催：関西学院大学先端社会研究所

(お問い合わせ先：先端社会研究所事務室 E-mail:asr@kwansei.ac.jp/Tel:0798-54-6085)